

おしゃべりコーナー

(目次)

< 今月の歌 >

「[琵琶湖周航の歌](#)」

(竹の台・米田哲夫)

< ショート・ショート >

「[入院](#)」

(春日台・大西 No.19)

< 西神の花 >

「[ユキヤナギ](#)」

(竹の台・島田)

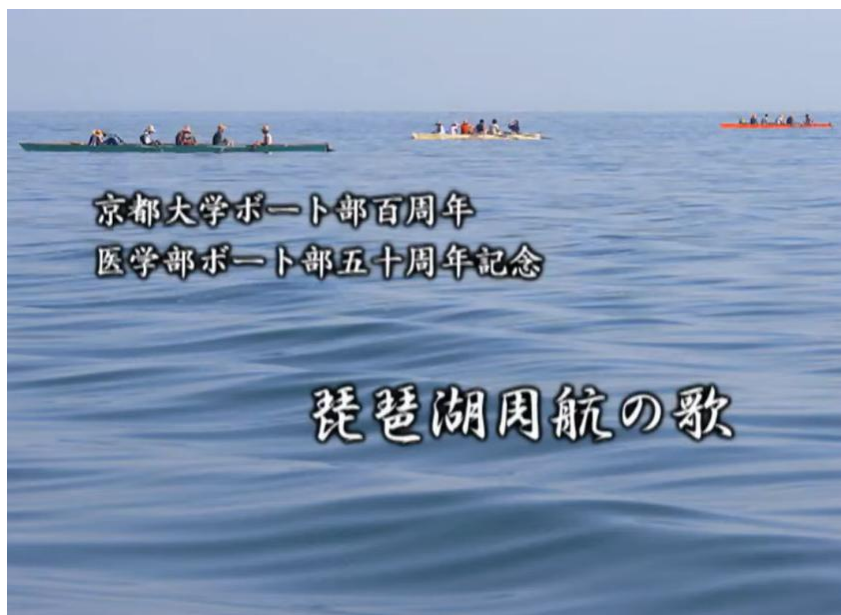
< 今月の歌 >

『琵琶湖周航の歌』

作詞：小口太郎

作曲：吉田千秋

https://youtu.be/Q8nVyPx1N58?si=53XOO60LDsTd_Lp7



高校時代に全生徒に配られた歌集に載っていて、なぜか、いつのまにか歌が歌えるようになっていました。周航と言われているように、まさに学生放浪の歌です。

何時か一緒に歌いませんか。

♪ 我は海の子 さすらいの
旅にしあれば しみじみと
のぼるさぎりや さざ波の
滋賀の都よ いざさらば

♪ 松は緑に 砂白き
雄松が原の おとめ子は
赤い椿の 森蔭に
はかない恋に 泣くとかや

♪ 波の間に間に 漂えば
赤い漁火 なつかしみ
行方定めぬ 波枕
今日は今津か 長浜か

♪ 瑠璃の花園 珊瑚の宮
古い伝えの 竹生島
仏の御手に 抱かれて
眠れ乙女子 やすらけく

(竹の台 米田哲夫)

[目次へ](#)

<ショート・ショート> ちょっとした気づきやつぶやき・・・

「入院」

2月、神戸大学病院に入院した。

これまで手術入院は、救急車で運ばれ重篤な症状のときは個室に入ったが、それ以外病室は2人か4人部屋だった。

手術も終わり、経過観察の時期になると同部屋の患者同士、他愛もない会話をしていた。

出張先の神戸で心筋梗塞になった
沖縄の記者、
男手ひとりでスーパーの弁当だけで
子育てするトラック運転手、
見舞い客が来ない老人、
無断外出で病院に叱られたパチンコ迷人。
それぞれの人生のひとコマだ。

今回の入院は4人部屋。
昼間から各々にカーテンを閉めきり、
お互い話をする事はなかった。

院内歩行が許可されても3回の食事は
病室のベット脇のテーブルで
壁に向かってひとりで済ます。

以前は食堂で食べていたのが
コロナ以降廃止となった。

治療技術は進んでいくが、
患者のこころは居場所を失ってしまった。

退院前のはじめてのシャワーで驚いた。
鏡にこれまでの8回の手術の傷跡が映っていた。
傷だらけの人生を今も生きているのだと。



(春日台・大西 No.19)

[目次へ](#)

< 西神の花 >

「ユキヤナギ」

ユキヤナギは、毎年 3 月中旬頃、街路を彩り、早春を告げる白い花です。いつも開花を心待ちにしています。
花言葉は「愛らしさ」、「静かな思い」です。



(竹の台 島田)

[目次へ](#)